



全町下の句歌留多大会



町内の愛好者で構成する、幌加内町下の句歌留多愛好会(会長：小林四郎)は、2月17日に町高齢者コミュニティセンターで全町下の句歌留多大会を開き、細川町長や幌高生も含む10チーム32人が、会員相互の親睦と世代間交流を図りました。

幌加内町下の句歌留多愛好会は会員24人のうち、半数以上が80歳を超え、毎年11月～3月末の間、月2～3回ほど健康づくりを兼ねて練習を重ねています。

この日、会場を熱気が包み、読み手の雅な声の流れると、参加者たちは、年齢を感じさせない機敏な動きで札を追いました。

なお、大会結果は以下のとおりです。(敬称略)

優勝「夢の組」(篠原光義・棕井巴磨子・野口房枝)
準優勝「三笠の組」(清原覺・前田千恵子・阿部稔子)
三位「紅葉の組」(加藤忠男・佐藤友子・大津幸子)



故杉山勉氏 旭日単光章受章

平成30年11月7日(水)、79歳で逝去されました元幌加内町議会議長の杉山勉氏が旭日単光章の栄に輝き、平成31年2月21日(木)に杉山宅(旭川市)において、細川町長より妻のトミ子さんへ伝達されました。

杉山氏は、平成3年に住民の信望を担ぎ、幌加内町議会議員に当選以来、平成19年までの4期16年間の永きにわたり在職し、議長4年間、副議長2年間などの要職を歴任されました。

このたび、地方行政全般にわたり不断の努力を傾注し、地方自治の振興発展のご功績に対し、今回の栄えある受章となりました。



伊藤幸博氏が北海道知事感謝状受賞

平成31年2月19日札幌にて開催された平成30年北海道指導農業士・農業士称号贈呈式において、農業士・指導農業士として担い手の育成、指導に尽力されるなど、本道農業の発展に大変寄与されたことに伴い、北海道知事より感謝状が授与されました。

経歴

昭和60年から北海道農業士として活躍し、平成22年からは北海道指導農業士として、地域農業の振興や農村生活の活性化の支援で活躍されている。また、平成31年2月5日付けで設立された「幌加内町指導農業士・農業士会」の初代会長を務める。



**消防団員、消防記念日に
普通救命講習会～幌加内～**

毎年3月7日の消防記念日にあわせ、3月2日(土)に深川地区消防組合幌加内消防団ら(団長:高山友樹)が幌加内消防庁舎で開催された普通救助講習会に参加し、自身のスキルアップなど訓練に尽力を注ぎました。

講習会では、講師に幌加内支署職員が務め、救急隊が到着するまでに、近くに居合わせた人が心肺蘇生やAEDを使用した場合の傷病者の生存率や回復後の社会復帰率が大きく違うことを学びました。

また模型を使った講習では、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用方法などを真剣に学び、平常時の一次救命として大切な講習会となりました。



**平成30年度
農業関連試験研究報告会**

2月21日(木)、生涯学習センター「ふれあいホール」において、平成30年度幌加内町農業関連試験研究報告会が行われました。

報告会では、農業技術センターの笠井次長より幌加内町における「キタミツキ」の生育と収量と題し、平成28年度からの3年間の記録による研究発表や、幌加内高校(作物班、食研究班、そば班)から農業クラブ北海道実績発表大会の報告、他にも、須佐直氏から「水稲もち米生育状況調査」、佐々木康行氏から「そば奨励品種決定現地試験及びソバ追肥試験」、佐々木淑子氏から「ソバに対する窒素追肥」、田丸利博氏から「ソバの情勢と今後の幌加内の取り組み」の発表があり、来場者は今年度の研究成果等に耳を傾けました。



士別警察署かわら版

山菜採りにおける遭難防止のために

例年、行者ニンニクやタケノコ等の山菜を求めて入山し、道に迷ったり、沢に転落する事故が起きています。慣れた山でも、油断すると「危険な落とし穴」があることを忘れず、次の事に注意しましょう。

- **山菜採りを行う際の注意事項**
 - ・ 家族に行き先と帰宅時間を知らせる。
 - ・ 単独での入山を避け、互いに声をかけ合い位置を確認する。
 - ・ 服装は目立つ色にする。
 - ・ 携帯電話、非常食、水、熊鈴、笛を携行する。
 - ・ 迷ったときは落ち着いて行動する。
- **ヒグマに遭わないための注意事項**
 - ・ ヒグマの出没情報を確認する。
 - ・ 出没情報のある場所、出没を知らせる看板のある場所へは入らない。
 - ・ 山には仲間と入り、一人にならないようにする。
 - ・ 鈴を鳴らすなど、音で人の存在や接近を知らせる。
 - ・ 早朝、夕方、悪天候などで薄暗いときは山に入らない。



**新入学・新入園期における
交通事故の防止**

～とび出さない
いったんとまって みぎひだり～
交通ルールは、事故を起こしたり、被害に遭わないための大切な決まりです。お父さんやお母さんが、日常生活の中でお手本を示しながらしっかり教えてあげましょう。また、お子さんと通学・通園路を一緒に歩いて、危険な場所や車の危険な動きについて分かりやすく教えてあげ、安全な行動がとれるように指導しましょう。



問い合わせは士別警察署まで。
士別警察署 (代)23-0110